

平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 日本曹達株式会社

上場取引所 東

コード番号 4041 URL <http://www.nippon-soda.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 彰

問合せ先責任者 (役職名) 総務グループリーダー (氏名) 竹内 哲

TEL 03-3245-6053

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	63,608	8.1	2,244	60.3	3,888	1.4	2,584	35.1
29年3月期第2四半期	58,827	14.2	1,400	57.7	3,835	64.1	3,983	57.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 5,265百万円 (352.1%) 29年3月期第2四半期 1,164百万円 (82.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	17.13	
29年3月期第2四半期	25.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	218,329	142,411	63.9
29年3月期	217,302	138,069	62.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 139,555百万円 29年3月期 135,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		6.00	12.00
30年3月期		6.00			
30年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,000	3.4	5,600	4.4	7,900	20.3	5,500	37.4	36.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	155,636,535 株	29年3月期	155,636,535 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	4,723,447 株	29年3月期	4,724,709 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	150,912,453 株	29年3月期2Q	154,736,785 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業収益の改善により緩やかな景気回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性が継続するなど、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、「新中期経営計画（2018年3月期～2020年3月期）」を策定し、「事業収益力の向上」と「新規事業の創出」を主題として、企業価値の向上に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、農業化学品事業において研究開発費が増加したものの、化学品事業や建設事業が堅調に推移したことなどにより、売上高は636億8百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は22億4千4百万円（前年同期比60.3%増）となりました。

経常利益は、当社持分法適用関連会社Novus International, Inc.の減益などにより38億8千8百万円（前年同期比1.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益の減少により25億8千4百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[化学品事業]

化学品事業におきましては、市況の回復や需要の増加により、工業薬品および医薬品の販売が堅調に推移しました。また、連結子会社Alkaline SASにおける金属ナトリウムの販売が伸長しました。

この結果、当累計期間の売上高は194億1千5百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は15億7千9百万円（前年同期比120.4%増）となりました。

工業薬品は、カセイソーダおよびカセイカリが堅調に推移したことにより、増収となりました。

化成品は、感熱紙用顕色剤および硫黄誘導体が減少したものの、金属ナトリウムの伸長などにより、増収となりました。

機能材料は、樹脂添加剤「NISSO-PB」が減少し、減収となりました。

エコケア製品は、重金属固定剤「ハイジオン」が減少し、減収となりました。

医薬品・医薬中間体は、医薬品添加剤「HPC」の伸長により、増収となりました。

工業用殺菌剤は、木材用防虫剤などが堅調に推移したことにより、増収となりました。

[農業化学品事業]

農業化学品事業におきましては、人口増加や新興国の経済発展による農産物需要の増大に伴い、中期的には農薬需要の増加が見込まれるものの、足元では穀物相場の低迷や一部地域における在庫調整の影響などにより、農薬の販売が低調に推移しました（海外販売比率63.0%）。また、新規農薬の開発に伴う研究開発費が増加しました。

この結果、当累計期間の売上高は158億9千4百万円（前年同期比4.9%増）、営業損失は8億9千1百万円（前年同期は4億6千6百万円の営業損失）となりました。

殺菌剤は、「パンチョ」・「トップジンM」の輸出向けの減少により、減収となりました。

殺虫剤・殺ダニ剤は、「モスピラン」・「ニッソラン」の輸出向けの伸長により、増収となりました。

除草剤は、「ホーネスト」の輸出向けが減少し、減収となりました。

[商社事業]

樹脂原料が減少したものの、ウレタン原料および飼料添加物が堅調に推移したことなどにより、当累計期間の売上高は166億1千1百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は3億4百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

[運輸倉庫事業]

運送業および倉庫業が堅調に推移したことにより、当累計期間の売上高は20億6千8百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は2億6千6百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

[建設事業]

プラント建設工事の増加により、当累計期間の売上高は59億6千1百万円（前年同期比37.6%増）、営業利益は7億5千3百万円（前年同期比169.1%増）となりました。

[その他]

当累計期間の売上高は36億5千6百万円（前年同期比23.3%増）、営業利益は2億5千7百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、たな卸資産や投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ10億2千6百万円増加し、2,183億2千9百万円となりました。

負債につきましては、短期借入金や長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ33億1千5百万円減少し、759億1千7百万円となりました。

また純資産は、利益剰余金の増加の他、その他有価証券評価差額金の増加もあり、前連結会計年度末に比べ43億4千1百万円増加し、1,424億1千1百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は63.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ16億8百万円減少し、315億3千8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、71億4千2百万円の収入（前年同期は365億8千3百万円の収入）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益36億2千3百万円（非キャッシュ項目である持分法による投資利益10億8千4百万円を含む）に加え、売上債権の減少による収入45億9千8百万円や仕入債務の増加による収入27億1千5百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、39億8千3百万円の支出（前年同期は31億2千2百万円の支出）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出34億5千2百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、50億3千2百万円の支出（前年同期は98億3千7百万円の支出）となりました。これは主として、借入金の減少による支出41億円や配当金の支払9億5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回（平成29年5月12日）発表予想に変更はありません。なお、下半期の為替レートは1ドル＝110円、1ユーロ＝130円を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,171	31,576
受取手形及び売掛金	38,153	34,205
電子記録債権	2,018	1,745
たな卸資産	28,484	31,001
繰延税金資産	1,996	2,100
その他	3,509	4,177
貸倒引当金	△196	△206
流動資産合計	107,137	104,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,694	16,897
機械装置及び運搬具（純額）	18,284	18,761
工具、器具及び備品（純額）	1,610	1,607
土地	15,338	15,263
建設仮勘定	2,515	2,172
その他（純額）	238	23
有形固定資産合計	54,682	54,726
無形固定資産		
のれん	704	586
その他	877	859
無形固定資産合計	1,582	1,446
投資その他の資産		
投資有価証券	41,186	44,527
退職給付に係る資産	7,597	7,829
繰延税金資産	2,469	2,220
その他	2,673	3,001
貸倒引当金	△26	△24
投資その他の資産合計	53,900	57,555
固定資産合計	110,165	113,728
資産合計	217,302	218,329

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,445	17,673
電子記録債務	1,917	2,942
短期借入金	31,634	28,640
未払法人税等	1,468	591
賞与引当金	3,017	1,698
その他	6,847	5,080
流動負債合計	60,330	56,626
固定負債		
長期借入金	7,569	6,585
繰延税金負債	4,797	6,199
退職給付に係る負債	2,563	2,570
環境対策引当金	1,119	1,085
その他	2,852	2,849
固定負債合計	18,902	19,290
負債合計	79,232	75,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,166	29,166
資本剰余金	29,359	29,359
利益剰余金	71,592	73,270
自己株式	△2,232	△2,231
株主資本合計	127,886	129,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,083	9,706
繰延ヘッジ損益	△139	△78
為替換算調整勘定	616	354
退職給付に係る調整累計額	△75	8
その他の包括利益累計額合計	7,483	9,991
非支配株主持分	2,698	2,855
純資産合計	138,069	142,411
負債純資産合計	217,302	218,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	58,827	63,608
売上原価	44,509	47,449
売上総利益	14,317	16,158
販売費及び一般管理費	12,917	13,913
営業利益	1,400	2,244
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	337	446
持分法による投資利益	2,470	1,084
その他	417	673
営業外収益合計	3,229	2,212
営業外費用		
支払利息	211	175
為替差損	232	—
その他	350	392
営業外費用合計	794	568
経常利益	3,835	3,888
特別利益		
固定資産売却益	—	27
持分変動利益	907	—
特別利益合計	907	27
特別損失		
固定資産廃棄損	85	290
その他	—	2
特別損失合計	85	292
税金等調整前四半期純利益	4,657	3,623
法人税、住民税及び事業税	1,879	614
法人税等調整額	△1,252	302
法人税等合計	626	917
四半期純利益	4,031	2,706
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	121
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,983	2,584

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	4,031	2,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	2,695
繰延ヘッジ損益	33	124
為替換算調整勘定	△854	258
退職給付に係る調整額	69	89
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,059	△609
その他の包括利益合計	△2,866	2,558
四半期包括利益	1,164	5,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,188	5,091
非支配株主に係る四半期包括利益	△23	173

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,657	3,623
減価償却費	3,153	3,286
のれん償却額	117	117
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,694	△1,321
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△310	△232
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4	△32
受取利息及び受取配当金	△341	△454
支払利息	211	175
持分法による投資損益 (△は益)	△2,470	△1,084
持分変動損益 (△は益)	△907	—
固定資産廃棄損	85	290
売上債権の増減額 (△は増加)	10,203	4,598
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,929	△2,253
仕入債務の増減額 (△は減少)	△220	2,715
前払費用の増減額 (△は増加)	△853	△457
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	682	△537
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△233	△419
その他	△767	△874
小計	8,378	7,139
利息及び配当金の受取額	30,935	1,556
利息の支払額	△212	△174
法人税等の支払額	△2,517	△1,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,583	7,142
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,852	△3,452
有形固定資産の売却による収入	1	92
無形固定資産の取得による支出	△46	△163
投資有価証券の取得による支出	△141	△15
関係会社株式の取得による支出	—	△61
有形固定資産の除却による支出	△72	△347
その他	△11	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,122	△3,983
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,040	△2,232
長期借入れによる収入	—	1,295
長期借入金の返済による支出	△3,740	△3,162
自己株式の取得による支出	△1,891	△1
配当金の支払額	△1,085	△905
その他	△78	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,837	△5,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	△394	265
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,228	△1,608
現金及び現金同等物の期首残高	14,494	33,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,723	31,538

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	18,091	15,149	16,316	1,971	4,333	55,862	2,964	58,827	—	58,827
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,994	40	2,111	845	1,505	12,497	1,633	14,131	△14,131	—
計	26,086	15,189	18,427	2,816	5,839	68,360	4,598	72,958	△14,131	58,827
セグメント利益 又は損失(△)	716	△466	263	222	279	1,016	225	1,241	158	1,400

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	19,415	15,894	16,611	2,068	5,961	59,951	3,656	63,608	—	63,608
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,163	32	2,083	818	2,710	13,808	1,676	15,485	△15,485	—
計	27,579	15,926	18,694	2,887	8,671	73,760	5,333	79,093	△15,485	63,608
セグメント利益 又は損失(△)	1,579	△891	304	266	753	2,011	257	2,269	△24	2,244

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

連結決算概要

1. 連結業績

(単位：百万円)

	29年3月期 第2四半期	30年3月期 第2四半期	増減	30年3月期 (通期予想)	増減 (対前期)
売上高	58,827	63,608	4,780	133,000	4,352
営業利益	1,400	2,244	844	5,600	234
経常利益	3,835	3,888	53	7,900	△2,008
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,983	2,584	△1,398	5,500	△3,285

2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位：百万円)

		29年3月期 第2四半期	30年3月期 第2四半期	増減	30年3月期 (通期予想)	増減 (対前期)
化学品事業	売上高	18,091	19,415	1,324	37,200	45
	営業利益	716	1,579	862	1,910	353
農業化学品事業	売上高	15,149	15,894	744	40,900	826
	営業利益	△466	△891	△424	1,810	8
商社事業	売上高	16,316	16,611	295	33,400	360
	営業利益	263	304	40	380	△118
運輸倉庫事業	売上高	1,971	2,068	96	3,900	△98
	営業利益	222	266	43	310	△98
建設事業	売上高	4,333	5,961	1,628	11,100	3,145
	営業利益	279	753	473	850	268
その他	売上高	2,964	3,656	691	6,500	72
	営業利益	225	257	32	390	2
合計	売上高	58,827	63,608	4,780	133,000	4,352
	営業利益	1,400	2,244	844	5,600	234

3. 主要指標

	29年3月期 第2四半期	30年3月期 第2四半期	増減
為替レート(円/ドル)	105.7	110.5	4.8
為替レート(円/ユーロ)	118.5	126.0	7.5
設備投資額(百万円)	2,361	3,222	860
減価償却費(百万円)	3,153	3,286	132
研究開発費(百万円)	2,754	3,092	338
1株当たり四半期純利益(円)	25.74	17.13	△8.61
総資産(百万円)	206,045	218,329	12,283